

警視庁と(ISC)²、サイバーセキュリティ人材育成に関するパートナーシップ契約を締結

2020年1月23日、フロリダ州クリアウォーターの(ISC)²本部にて、(ISC)²と警視庁による覚書への署名式が行われた。覚書はサイバーセキュリティ人材育成に関するパートナーシップに関するもので、警視庁及びその他法執行機関に対するCISSPトレーニングの提供を含む。

サイバー犯罪による被害が拡大するなか、犯罪を取り締まる法執行機関のサイバーセキュリティに関するスキルを高めることは急務である。また、大規模なサイバー犯罪は他国が関係することも多く、グローバルなサイバーセキュリティコミュニティとのパートナーシップが有益であることは疑いが無いと言えよう。今回のパートナーシップ締結を受



(ISC)² CEOのDavid Shearer氏(中央左)と握手する警視庁 サイバーセキュリティ対策本部 松下徳弥副本部長(中央右)

け、警視庁 サイバーセキュリティ対策本部 松下徳弥副本部長は「日本の法執行機関の中で最初に(ISC)²とパートナーシップを締結できたことを嬉しく思っています。

サイバー空間は世界中の国と繋がっていますので、世界に通用する資格が必要だと考えています。」と述べた。

(ISC)²のCOOであるWesley氏は、「警視庁はサイバーセキュリティへの取り組みを続けてこられました。(ISC)²の資格は体系的で、なおかつ実践的なサイバーセキュリティの共通知識に基づいたものであり、法執行機関に必要なものだと確信しています。」と述べている。

このパートナーシップが警視庁のサイバーセキュリティ人材育成に貢献し、安心・安全なサイバー空間の実現に繋がることを期待したい。

CCSPトレーニングとCCSP試験、日本語化される



2019年12月、日本語の教材を使ったCCSPトレーニングが初めて開催された。CCSP (Certified Cloud Security Professional)は、(ISC)²がクラウドセキュリティの専門家を認定する資格で、近年注目を集めている。

トレーニングはNTTアドバンステクノロジー株式会社によって開催され、(ISC)²認定講師である諸

角昌宏氏が講師を務めた。

更に、2020年4月から、CCSP試験が日本語化(日本語・英語併記)されることも発表された。

政府や企業でのクラウド利用が進む中、クラウドセキュリティの重要性は高まる一方である。取得を検討してみたいかだろうか。

(ISC)²の主な認定資格



CISSP[®]

Certified Information Systems Security Professional

経営者の目線、情報セキュリティ責任者の目線、そして現場の目線を持ち、体系的な知識に基づいて**情報セキュリティを統合的にマネジメントする専門家**のための資格。世界各国で13万人以上が保有する、情報セキュリティ専門家資格のグローバルスタンダード。



SSCP[®]

Systems Security Certified Practitioner

CISSPが策定した計画に基づき、現場で情報セキュリティを実現する技術者のための資格。**ネットワークエンジニア・システムエンジニア**が、セキュリティ専門家とコミュニケーションをとり、正しい情報セキュリティの理解に基づいて日々の業務を行うために必要な知識とスキルを認定する。



CCSP[®]

Certified Cloud Security Professional

クラウドサービスを安全に利用するために必要な知識を体系化した資格。Cloud Security Alliance (CSA)と共同で開発。CCSK (Certificate of Cloud Security Knowledge)の上位資格として位置づけられる。「クラウドファースト」を推進する組織のセキュリティ責任者として需要が増加している。

香港でISLA 2019受賞式開催される

(ISC)² Secure Summit APAC の期間中である2019年7月10日に香港のコンラッドホテルで、第13回年間アジア・パシフィック情報セキュリティ・リーダーシップ・アワード (ISLA)の表彰式が行われた。

ISLAは毎年1回、情報セキュリティ分野で目覚ましいリーダーシップを発揮した人々を表彰している。今年はAPAC地域から13名 (うち日本からは3名) が表彰された。日本からのISLA受賞者は以下の通り。

Senior Information Security Professional部門 受賞



米川 敦氏, CISSP
調査役, 三井住友信託銀行、日本
Showcased 表彰及び Community Service Star



雲田 陽一氏, CISSP
東京2020グループ企画官, 内閣官房
内閣サイバーセキュリティセンター、
日本



安田 良明氏, CISSP, SSCP
株式会社ラック、
日本

Gartner Security & Risk Management Summitに今年も出展

昨年に引き続き、2020年も8月31日(月)~9月2日(水)にANAインターコンチネンタル東京で開催される同イベントに出展します。皆様のお越しを心よりお待ちしております。申し込みは下のURLから。



<https://gartner-em.jp/srm/>

お知らせ

■ Ultimate guide

資格の取得に関する情報がコンパクトにまとまったCISSPのUltimate Guide(日本語版)、CCSPのUltimate Guide(英語版)がダウンロード可能です。資格の取得をお考えの方は是非ダウンロードしてください。

CISSP Ultimate Guide日本語版:
<https://www.isc2.org/Certifications/ultimate-guides/cissp/jp>

CCSP Ultimate Guide英語版:
<https://www.isc2.org/Certifications/Ultimate-Guides/CCSP>



(ISC)²主催イベントのご紹介

- ◆ CISSPチャレンジセミナー (隔月開催)
「CISSPとしての考え方」をご紹介します。毎回満員になる人気セミナー。
- ◆ CCSP チャレンジセミナー (随時開催)
CCSPの取得を考えている方向けセミナー。クラウドセキュリティ資格を理解。
- ◆ Infosession (随時開催)
(ISC)²の資格について説明するオンラインセッション。録音したものはいつでも視聴可能。



2019年、初めて沖縄でCISSPチャレンジセミナー、CISSPトレーニングが開催され、(ISC)²認定講師である淵上真一氏が講師を務めました。

詳しくは(ISC)² Japan Webサイトまで。



イベントの詳細情報は
(ISC)² Japan 公式Webまで。

<https://japan.isc2.org/>

■ 日本語版CISSP CBK・CISSP公式問題集

NTT出版からCISSP 8ドメイン版に対応したCISSP CBKの日本語版が発売されています。CISSP CBKは情報セキュリティの知識を体系化したもので、CISSPの受験を考えている人には必携の書籍です。

CISSPの公式問題集日本語版もNTTアドバンステクノロジー株式会社から発売されています。1000問以上の問題が掲載されており、受験前の腕試しには最適です。電子書籍として、honto、Appleブック、ヨドバシ、楽天ブックス、Music.jp、どこでも読書、やまだ書店で購入することができます。



- コラム - クラウド・バイ・デフォルト時代の セキュリティ



(ISC)² 認定講師
諸角 昌宏氏, CCSP

日本政府が、クラウドサービスの利用を第一候補とする方針（クラウド・バイ・デフォルト）を打ち出しているように、クラウドの利用が急速に拡大しています。同時に、クラウド環境におけるセキュリティを理解することが重要になっていきます。しかしながら、クラウドのセキュリティは、全てクラウド事業者が責任を負ってくれるというような間違った理解をされているケースも見受けられます。

クラウドセキュリティの基本は、責任共有モデルであり、クラウドの利用者と事業者が、責任境界を理解し、お互いに責任を持ちながら進めていくことが重要です。そのためには、クラウドセキュリティを系統立てて学び、実践に結び付けていく必要があります。これは、クラウド事業者、利用者双方に必要となる知識です。

(ISC)²が提供するCCSP (Certified Cloud Security Professional) は、クラウドサービスを安全に利用するために必要な知識を体系化した資格として、クラウドセキュリティの専門知識を習得することができます。

日本政府が、クラウドサービスの利用を第一候補とする方針（クラウド・バイ・デフォルト）を打ち出しているように、クラウドの利用が急速に拡大しています。同時に、クラウド環境におけるセキュリティを理解することが重要になっていきます。しかしながら、クラウドのセキュリティは、全てクラウド事業者が責任を負ってくれるというような間違った理解をされているケースも見受けられます。

クラウドセキュリティの基本は、責任共有モデルであり、クラウドの利用者と事業者が、責任境界を理解し、お互いに責任を持ちながら進めていくことが重要です。そのためには、クラウドセキュリティを系統立てて学び、実践に結び付けていく必要があります。これは、クラウド事業者、利用者双方に必要となる知識です。

(ISC)²が提供するCCSP (Certified Cloud Security Professional) は、クラウドサービスを安全に利用するために必要な知識を体系化した資格として、クラウドセキュリティの専門知識を習得することができます。

- コラム - CISSP合格体験記

◆取得のきっかけ

CISSPは知っていましたし、いつか取りたいとは思っていましたがなかなか行動に移せずにいました。東京電機大学CySec講座の講師になったこと、転職を考えたことをきっかけとして取得に向けて動き始めました。

◆受験勉強

勉強期間は3か月、方法は以下の通りです。

1. トレーニングテキストを3回熟読
2. CISSP Official (ISC)² Practice Testsなどの参考問題を3回解く
3. 理解度に不安がある、参考問題で間違えた箇所をCISSP公式ガイドブックで復習

復習するためにはCISSP公式ガイドブックが最適です。また、受験後も折々、確認したい場合に使う事典としても有用です。

◆試験

時間配分を考えなかったため、一通り回答し終えた時には4時間以上経過しており見直しはほとんどできませんでした。

◆これから試験を受ける方へ

参考問題は最低3回は解いておくことをお勧めします。1回ではたまたま正答しただけの可能性があります。3回解くことによって自分が本当に理解しているかがわかります。また、試験の際、時間配分を考えておくことをお勧めします。6時間はあっという間です。



グローバルセキュリティ
エキスパート株式会社
大鐘 博子氏, CISSP

(ISC)² APAC Secure Webinarのご案内

Focused Webinars
1-hour Sessions

- » SecurityBriefings: deep exploration of particular security challenges
- » ThinkTanks: roundtable sessions
- » CISO Says: interviews with cybersecurity leaders

[Learn More](#)

(ISC)² APACメンバーがCPEを獲得する機会として、(ISC)² Webinarシリーズを開催しています。業界をリードする企業から、最先端のサイバーセキュリティに関する情報が紹介されます。もちろん、日本語のWebinarもあります。

ライブで参加することで、直接講師に質問することが可能です。オンラインでCPEを獲得できる貴重な機会ですので、是非ご参加ください!!

また、(ISC)²認定講師によるWebinar解説もFacebookに掲載しています。こちらも併せてご活用ください。

開催予定は(ISC)²ホームページをご覧ください。

※以前開催されたWebinarのレコーディングはいつでも視聴することができます。もちろん、CPEも獲得できますので、是非ご覧ください。

Professional Development Institute (PDI)コース

(ISC)²は、メンバーに向けて様々な継続教育の機会を提供しています。PDIは、その一つであり、オンラインで受講することができます。現在は英語版のみですが、日本語字幕をつけることも計画しています。

「Building a Strong Culture of Security」、「GDPR for Security Professionals」、「DevSecOps: Integrating Security into DevOps」などの魅力的なコースがあります。

今後も続々と有益なコースが追加されますので、お楽しみに!!



(ISC)² Security Awareness Training



Assessing Application Security



CISO's Guide to Success



Creating Your Path to CISO



Responding to a Breach



Building a Strong Culture of Security



Cyber Forensics Incident Recovery



DevSecOps: Integrating Security into DevOps



GDPR for Security Professionals: A Framework for Success



Official (ISC)² CISSP® Flash Cards

LOOKING BACK – AND LOOKING FORWARD TO 2020

今年の出来事と2020年の展望

(ISC)² 30周年を祝うとともに、この30年を振り返ってみると、ITセキュリティを取り巻く環境は信じられないほどの変化を遂げました。テクノロジーの進歩から、ポリシーや規制の変更に至るまで、この分野は常に変化しています。変化し続けたという意味において、2019年も(ISC)²にとってこれまでと大きな違いはなかったと言えるかもしれません。

2019年は、メンバーにより多くの価値を提供するための Professional Development Institute(PDI)の立ち上げで始まり、10月末にフロリダ州オーランドで開催された、これまでで最大の参加者数とプログラム数を誇る国際的な Security Congress で締めくくりました。

また、試験内容を更新し、認証とコースをさらに強化しました。

今年の変化は、この組織の移行期の一部です。2013年の(ISC)² 理事メンバー(Board of Directors)承認に基づき、(ISC)²の歴史で初めて年会費(AMF)を引き上げ、請求ポリシーを「後払い」から「前払い」に変更しました。この変更にはデータベースの移行が伴い、この前例のない更新によって一部のメンバーに少なからず影響を与えることになりました。ご不便をおかけしたすべての皆様に、深くお詫び申し上げます。



(ISC)² CEO David Shearer氏

◆ Professional Development Institute

2019年を通じて、12,000人以上の方がPDIコースを修了しました。PDIコースカタログには、メンバーとアソシエイト(準会員)が無料で利用できる30を超えるコースがあります。PDIには、アプリケーションのセキュリティ、クラウドの移行、セキュリティ文化の構築、経営幹部とのコミュニケーション、違反への対応などのトピックに関するコースがあります。

◆ Security Congress

史上最大のカンファレンスが10月にウォルトディズニーワールドドルフィンリゾートで開催されました。2,600人以上の参加者が、このイベントのためにオーランドに集まりました。今後数年間、オーランドのグランドハイアットがカンファレンス会場になります。ぜひご参加ください!

◆ Global Recognition

私たちが認証するすべての資格情報が最新であることを保証するために、2019年に、CCSPとHCISPPの両方の試験を更新し、今日のサイバーセキュリティ専門家の役割と責任に関連するトピックの領域を網羅するようにしました。

◆ Cybersecurity Workforce Study
(ISC)² の使命には、サイバーセキュリティの専門家のサポートが含まれます。そのため、迫り来る労働力のギャップを緩和するためのソリューションと戦略を明らかにし、労働力に関する詳細な研究を続けています。2019年の調査では、グローバルなサイバーセキュリティ人材の実際の規模は280万人と推定されましたが、ギャップを埋めるためには145%の成長の必要性があると報告されました。また、サイバーセキュリティ業界の女性、サプライチェーンのセキュリティにおける中小企業の役割、および合併と買収の監査でサイバーセキュリティに対して評価された価値に関するレポートも公開しました。

◆ Your Benefits of Membership

(ISC)² のメンバーまたはアソシエイトが得られるすべてのメリットを活用していただければ幸いです。カンファレンス、参考書、各種割引、チャプターやオンラインコミュニティを通じた他の専門家とつながりなど、メンバーシップを活用する数多くの方法が用意されています。

ニュースを見逃さないために、メンバーダッシュボードでコミュニケーション設定を更新することをお勧めします。2020年に実施されるエキサイティングな展開をどうぞお見逃しなく。私たちは2020年を「ビジョンの年」として、より多くの価値をメンバーの皆様に提供することをお約束します。

(ISC)² Security Congress 2020開催決定

11月16~18日、ディズニーワールドの街・オーランドにて



ています。参加を考えておられる方は(ISC)² Japan Chapterまでご連絡ください。

オーランドにはディズニーワールドもあり、昨年はスターウォーズのテーマパークが新しくオープンしました。そちらも一緒に楽しみましょう!

オーランドで皆様にお会いできることを楽しみにしています。

(ISC)² Security Congressは、(ISC)²が年に1回開催するイベントで、(ISC)²メンバーが集い、100を超えるセッションが行われます。最先端のサイバーセキュリティに関する情報を得るイベントとして最適です。

昨年はオーランドのディズニーホテルで開催され、2,600人以上の参加者が訪れ、交流を深めました。日本からの参加者も10名を超え、セッションのレベルが高いと大変好評でした。また、帰国後、(ISC)² Japan Chapterイベントとして報告会も開催されました。

2020年も(ISC)² Japan ChapterのWGでツアーが企画され



(ISC)² Japan Chapter の活動

(ISC)² Japan Chapterは、日本における情報セキュリティレベルの向上を目的とし、日本在住の多国籍な情報セキュリティ専門家の能力を高め、相互の技術交流および情報共有を促進する場を供し、そこから得られる知見についてグローバルに発信を行う団体です。

(ISC)²とは異なる組織として運営していますので、メンバーになるためには登録(下記)が必要です。

■ (ISC)² Japan Chapter 新プレジデント 野間文子氏の挨拶



昨年末より(ISC)² Japan Chapterのプレジデントに就任いたしました、野間文子です。これまでも(ISC)² Japan ChapterのワーキンググループであるJ-WISE (Japan Women in Security)のリードをしていましたが、今後はプレジデントとして新たな視点からチャプター全体の運営にも関わってまいります。

日本ではまだまだ(ISC)²の認証やチャプターの活動の認知度が低いのが課題です。(ISC)² Japan Chapterから教育や情報共有、またネットワーキングの場を提供することで、現在すでにセキュリティ分野で活躍されている方々はもちろんのこと、その他多くの方々にセキュリティに興味を持ってもらい、(ISC)²のみにとどまらず、セキュリティ分野全体の活動を盛り上げていきたい、と考えています。

こういった活動をして欲しい、などのご意見がありましたらぜひチャプター(info@isc2chapter.jp)までお寄せください。

■ Glossary WG

(ISC)²の資格試験やCBK、各種出版物の翻訳時に使われる用語集(英語→日本語)を検討するWGです。結果は(ISC)²本部にフィードバックします。



■ 勉強会WG

Chapterメンバーのスキル向上のために定期的に勉強会を開催しています。勉強会に参加することでCPEを獲得することができます。



■ J-WISE (Japan Women in Security)

J-WISEは、日本の情報セキュリティ分野における女性の活躍を推進することを目的に設立された会です。定期的に会合を行い、意見交換を行っています。



■ English Speaking Professionals WG (ESP-WG)

Provides networking opportunities to the information security professionals who speak English.



■ Security Congress WG

毎年(ISC)²によって開催される(ISC)² Security Congressに向けてツアーを企画し、現地でイベントに参加、帰国後の報告会を実施しております。

2019年は6名のChapterメンバーが参加しました。2020年は11月16~18日にオランダで開催予定であり、ご参加頂けるメンバーを募集しております。



(ISC)² Japan Chapter 会員登録のお願い

是非、Chapterメンバーとしてご登録ください。ご登録いただいた方には、さまざまなイベントの情報を提供いたします。また、(ISC)²メンバーの方は、これらのイベントに参加することでCPEを獲得することができます。

※ 詳しくは <https://sites.google.com/cissp.jp/chapter/> まで。

Twitter: @ISC2JpChapter

(ISC)² からのお知らせ

- ✓ メールのOpt-Inをお願いします: (ISC)²メンバーの方は、是非メールをOpt-Inしてください (GDPR対応のために全員が一旦Opt-Outされました)。メンバーサイトにログイン後、右上に表示されている自分の名前からプルダウンで「CONTACT PREFERENCES」を選択すると設定できます。
- ✓ 年会費が変わりました: 2019年7月から、年会費が\$125USDに変更になりました。今までは資格ごとにお支払いただく必要がありましたが、資格の種類・数に関わらず同額となります。



編集・発行:

(ISC)² (アイ・エス・シー・スクエア)

〒163-0532 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル32F

TEL: 03-5322-2837(代) E-mail: infoisc2-j@isc2.org Webサイト: <https://japan.isc2.org/>

小熊 慶一郎 / Keiichiro Oguma, CISSP / Director of Business Development, Japan

TEL: 090-5564-7038 E-mail: koguma@isc2.org

